

ひがしやま
3.28 東山トンネル供用開始

- ・主要地方道松川インター大鹿線 東山トンネル新設工事は、リニア工事の関連事業として平成 28 年 8 月より工事が進められてきました。
- ・平成 31 年 3 月 28 日に開通式が行われ供用開始しました。
- ・昨年 12 月に供用開始した西下トンネルと合わせて、道路延長の短縮、待合が無くなるなど、時間的にも大幅な短縮が図られ、安心安全に通行できる道路となりました。



平成 31 年 3 月 28 日 開通式 テープカット



トンネル起点(松川側)



トンネル内部



トンネル終点(大鹿側)

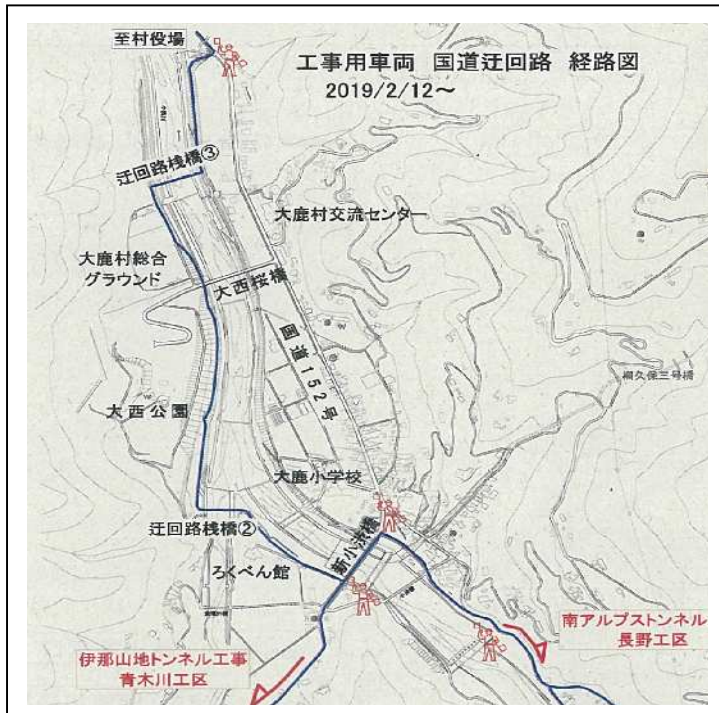


第 11 回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

- ・第 11 回大鹿村リニア連絡協議会が、関係者 41 名が出席し開催されました。
- ・リニア工事及び関連工事について、JR 東海及び県の担当者より現在の工事の進捗状況、今後の予定、モニタリング結果等について説明があり、その後意見交換を行いました。

■第 11 回 リニア連絡協議会 (平成 31 年 3 月 27 日 午後 7 時 00 分～8 時 15 分 開催)

■中央新幹線工事用車両の通行について



村総合グラウンド 施工状況



県道赤石岳公園線 改良状況

- ・引き続き迂回路の地権者様と協議を進めておりますが、未だ合意に至っておらず、3月以降かねてよりお知らせしておりましたとおり、県道赤石岳公園線の現行ルートにおける通行台数をこれまでの68台/日(往復)程度から徐々に増加し、当面(来年度末まで)の多い時で314台/日(往復)程度としています。
- ・台数増加にあたりましては、引き続き沿線住民の皆様のご意見を伺いながら、必要な対策を実施してまいります。

■受託事業による村道上蔵河原線、村道沢戸河原線の改良工事について

- ・小渋川非常口からの工事車両が通行する、小渋川沿いの道路(村道上蔵河原線及び村道沢戸河原線)について、狭隘箇所を拡幅改良します。改良後の舗装幅員は全幅 6.5mとなります。JR 東海から受託して村が工事発注しました。工事完了は夏頃を予定しています。

■半の沢及び鳶ヶ巣沢における盛土計画について第三者による設計照査の実施について

- ・長野県及び大鹿村では、JR 東海が施工するリニア中央新幹線工事に関連し、半の沢及び鳶ヶ巣沢において発生土を利用した道路改築事業(半の沢)及び環境対策事業(鳶ヶ巣沢)を計画しています。この盛土計画が適切な計画となるよう、砂防、地すべりに関して豊富な知識と経験を有する学識経験者が第三者の立場から照査する技術検討委員会を設立し、主に防災の観点から助言をいただき、照査結果をまとめる予定です。

○次回(第 12 回)開催日程について

- ・次回開催時期を 2019 年 6 月最終週とし閉会しました。